

(6) 中学校社会

① 出題方針

- ア 学習指導要領の目標、内容に即し、地理的分野及び歴史的分野から出題する。
 イ 「社会的事象への関心・意欲・態度」「社会的な思考・判断」「資料活用の技能・表現」「社会的事象についての知識・理解」の4つの観点から出題する。

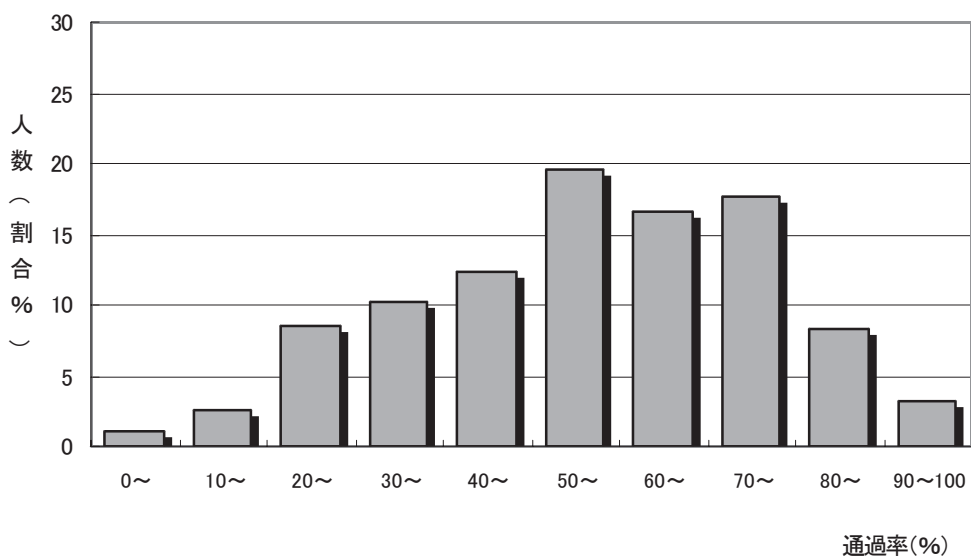
② 通過率と通過率分布（調査実施生徒 12,493人対象）

ア 通過率

通過率	設定通過率	通過率－設定通過率
56.3%	57.8%	-1.5

イ 通過率の分布

通過率 (以上～未満)	0～10	10～20	20～30	30～40	40～50	50～60	60～70	70～80	80～90	90～100 (以下)
分布(%)	1.1	2.6	8.5	10.2	12.4	19.6	16.5	17.6	8.3	3.2



考 察

- 通過率は56.3%で、設定通過率とほぼ同程度であるが、通過率の分布状況から、学習内容が定着している生徒と定着していない生徒の割合は、同程度と考えることができる。

③ 各設問の通過率

評価の観点

- ① 関心・意欲・態度
- ② 社会的な思考・判断
- ③ 資料の活用の技能・表現
- ④ 知識・理解

難易度

- A 基礎・基本
- B 標準
- C 応用・発展

問題	連番	内容・領域	評価の観点	難易度	内 容	通過率	設定通過率
1	(1)	世界の地域構成	③	A	世界地図からインド洋を読み取って記入する。	68.7%	70.0%
	(2)		④	B	資料から緯度経度について正しく読み取った説明文を選ぶ。	52.3%	60.0%
	(3)		③	C	正距方位図から方位や大陸名について正しく読み取り記入する。	23.2%	40.0%
	(4)	日本の地域構成	④	B	人口上位2位までの都道府県の位置を地図に示す。	75.9%	65.0%
(5)	②		B	山口～兵庫県間の都道府県の県名を記入する。	48.8%	55.0%	
2	(1)	身近な地域	④	B	愛知県の地域区分を選ぶ。	61.5%	55.0%
	(2)		②	B	新旧の地形図を比べて、地域の変化の様子を読み取った説明文を選ぶ。	50.4%	55.0%
	(3)	都道府県	④	A	愛知県で生産される輸送機械として、自動車を選ぶ。	66.4%	70.0%
	(4)		③	A	表から作成した統計地図の中から正しい地図を選ぶ。	68.0%	70.0%
3	(1)	世界の国々	④	C	日本の国土面積を本に資料中の諸国の国土面積に関する特色を読み取ることができる。	37.1%	40.0%
	(2)		④	B	日本の人口をもとに資料中の諸国の人口に関する特色を読み取ることができる。	50.6%	50.0%
	(3)		③	C	資料から諸国の老年人口を算出し、比較することができる。	26.2%	40.0%
	(4)		③	C	資料中にある首都の気温と降水量のグラフを、首都の緯度、海抜高度、年間降水量から判断することができる。	54.8%	45.0%
(1)	④		B	アメリカの主要穀物の中から小麦を選ぶ。	61.8%	65.0%	
(2)	①		B	グラフ資料をもとに適切な学習課題を選ぶ。	63.0%	55.0%	
(3)	②		B	トウモロコシ生産地域と肉牛飼育地域が一致する理由を選ぶ。	58.9%	60.0%	
(4)	③		B	小麦の収穫風景写真から、アメリカの農業の特色を記述する。	68.3%	65.0%	
(5)	③	B	アメリカと日本の農業を比較した表からは読み取れないことを選ぶ。	57.1%	60.0%		
5	(1)	歴史の流れと地域の歴史	③	B	示された写真資料の時代を年表の中から選ぶ。	60.9%	55.0%
	(2)		①	B	年表に示されたできごとから、テーマを見つけて記述する。	57.3%	60.0%
	(3)		④	B	大内氏が栄えた時代区分を選ぶ。	60.7%	60.0%
	(4)	古代までの日本	④	B	稲作伝来の頃の土器名を記入する。	50.1%	60.0%
	(5)		②	B	遣唐使の影響を受けた文化の説明文を選ぶ。	55.9%	65.0%
	(6)	中世の日本	②	B	勘合符が用いられた理由の説明文を選ぶ。	71.7%	65.0%
	(7)	近世の日本	④	A	鎖国中に貿易を許された国を選ぶ。	80.5%	70.0%
(1)	③		B	江戸時代に産業が発達した理由を資料から読み取ることができる。	60.8%	55.0%	
(2)	③	B	江戸時代の産業の様子を資料から読み取ることができる。	45.6%	50.0%		
7	(1)	近現代の日本と世界	④	B	生産技術の進歩によって社会変化したことをさす産業革命を記入する。	58.5%	65.0%
	(2)		②	B	三角貿易で取引された貿易品の組み合わせを選ぶ。	68.2%	60.0%
	(3)		②	B	開国後の庶民の生活の変化を資料から考察できる。	40.3%	50.0%
8	(1)		④	B	中央集権のために実施された版籍奉還、廃藩置県の組み合わせを記号で選ぶ。	53.2%	60.0%
	(2)		③	A	学制について説明した文で誤りのある文を選ぶ。	73.8%	70.0%
	(3)		②	C	地租改正について指定語句を使って記述する。	25.3%	40.0%
	(4)		④	B	文明開化の説明文の中から暦の変化について説明した文の間違いを選ぶ。	58.7%	60.0%
平均						56.3%	57.8%

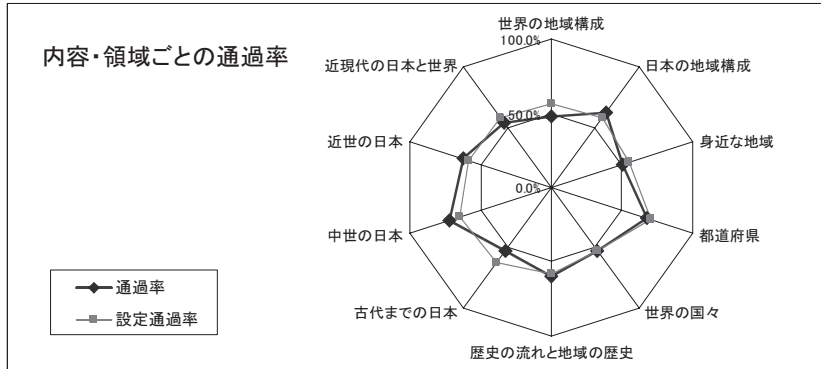
中学校
社会

考 察

- 全問題のうち、設定通過率を上回るものが9問、同程度のものが15問、下回るものが10問であることから、学習内容はおおむね定着していると考えることができる。
- 通過率が設定通過率を大幅に下回る問題もいくつかあり、応用・発展の問題については課題がみられる。

④ 内容・領域ごとの通過率

内容・領域等	地理的分野					歴史的分野				
	世界の地域構成	日本の地域構成	身近な地域	都道府県	世界の国々	歴史の流れと地域の歴史	古代までの日本	中世の日本	近世の日本	近現代の日本と世界
通過率 (%)	48.1	62.1	50.4	67.2	53.1	59.7	53.0	71.7	62.3	54.0
設定通過率 (%)	56.7	58.3	55.0	70.0	53.3	58.3	62.5	65.0	58.3	57.9

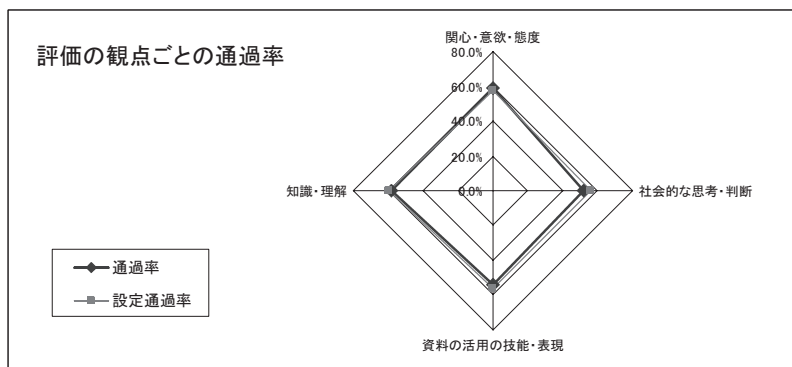


考 察

- 多くの内容・領域については、通過率が設定通過率と同程度であることから学習内容はおおむね定着していると考えられるが、「世界の地域構成」「古代までの日本」については、通過率が設定通過率を下回っており、定着が不十分である。

⑤ 評価の観点ごとの通過率

評価の観点	関心・意欲・態度	思考・判断	技能・表現	知識・理解
通過率 (%)	59.5	52.0	54.5	58.4
設定通過率 (%)	57.5	56.3	56.4	60.0

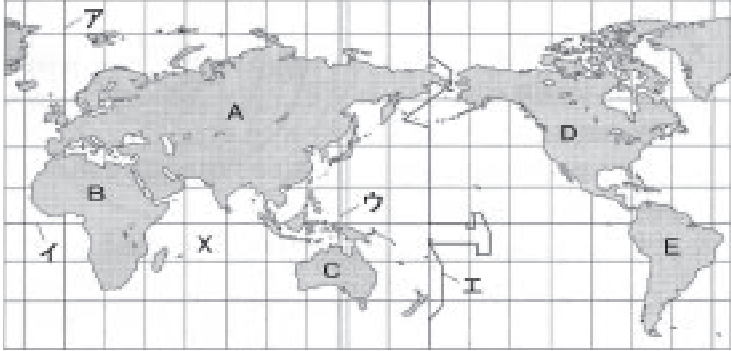


考 察

- すべての観点において、通過率が設定通過率と同程度であることから、学習内容の定着や学習状況はおおむね満足できる状況と考えることができる。

⑥ 17年度調査において課題とされた内容等の状況

課題1 世界の国々を大陸名や方位などの観点から大まかにとらえること

(内容・領域) 世界の地域構成		(通 過 率) 52.3%
(問題) ① (2)	(連番) 2	(設定通過率) 60.0%
 <p>(2) 資料1の線アからエの説明として正しくないものを、次の①から④の中から1つ選んで、その番号を答えなさい。</p> <p>① 線アは経度0度の線で、本初子午線という。 ② 線イは緯度0度の線で、赤道という。 ③ 線ウは西経135度の経線で、日本の標準時を決める子午線である。 ④ 線エはほぼ180度の経線にそって引かれた、日付変更線である。</p> <p>[考察] ○ 通過率は設定通過率を7.7ポイント下回っており、世界の国々をある視点から大別したり、分類したりすることには、引き続き課題があると考えられる。今後も、地図上における位置関係を分かりやすく説明するなど、学習を工夫する必要がある。</p>		













中学校
社会

課題2 都道府県の位置関係を覚えること



(内容・領域) 日本の地域構成		(通 過 率) 61.5%
(問題) ② (1)	(連番) 6	(設定通過率) 55.0%
<p>(1) 愛知県について述べた文として正しいものを、次の①から④の中から1つ選んで、その番号を答えなさい。</p> <p>① 愛知県は日本列島のほぼ中央にあり、面積が最大の湖である琵琶湖がある。 ② 愛知県は中部地方にあり、南は太平洋に面している。 ③ 愛知県の県庁所在地は名古屋市であり、日本の標準時子午線が通っている。 ④ 愛知県の人口は約700万人で、全国第1位である。</p> <p>[考察] ○ 通過率は設定通過率を6.5ポイント上回っており、都道府県名や各地方の位置関係を理解することなどは、改善がみられる。今後、生徒が確実に覚えらるよう白地図等を使った指導をさらに充実させる必要がある。</p>		

(調査問題、解答例等は109、114ページ参照)

課題3 それぞれの時代の出来事を、他の出来事と関連付けること

(内容・領域) 歴史の流れと地域の歴史		(通 過 率) 57.3%																									
(問題) 5 (2)	(連番) 20	(設定通過率) 60.0%																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">調べた人</th> <th rowspan="2">テーマ</th> <th rowspan="2">時代</th> <th>新編</th> <th>古代</th> <th>中世</th> <th>近世</th> </tr> <tr> <th>縄文・弥生 古墳・飛鳥 奈良・平安</th> <th>鎌倉・室町 戦国</th> <th>安土桃山・江戸</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>太郎くん</td> <td>建物の歴史</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>花子さん</td> <td>「X」 このかわり</td> <td></td> <td>稲作が広がる。 〔ア〕</td> <td>遣唐使を送る。 〔イ〕</td> <td>日米貿易を行う。 聯合貿易を行う。 〔ウ〕</td> <td>蘭商を行う。 〔エ〕</td> </tr> </tbody> </table>				調べた人	テーマ	時代	新編	古代	中世	近世	縄文・弥生 古墳・飛鳥 奈良・平安	鎌倉・室町 戦国	安土桃山・江戸	太郎くん	建物の歴史						花子さん	「X」 このかわり		稲作が広がる。 〔ア〕	遣唐使を送る。 〔イ〕	日米貿易を行う。 聯合貿易を行う。 〔ウ〕	蘭商を行う。 〔エ〕
調べた人	テーマ	時代	新編				古代	中世	近世																		
			縄文・弥生 古墳・飛鳥 奈良・平安	鎌倉・室町 戦国	安土桃山・江戸																						
太郎くん	建物の歴史																										
花子さん	「X」 このかわり		稲作が広がる。 〔ア〕	遣唐使を送る。 〔イ〕	日米貿易を行う。 聯合貿易を行う。 〔ウ〕	蘭商を行う。 〔エ〕																					
<p>(2) 花子さんのテーマ「 X 」にふさわしいタイトルを考えて書きなさい。</p> <p>[考察]</p> <p>○ 通過率は設定通過率と同程度と考えることができ、改善がみられる。今後も、時代や社会のしくみを様々な視点からとらえなおす機会を効果的に設ける必要がある。</p>																											

課題4 歴史的な事象を深く理解すること

(内容・領域) 近現代の日本		(通 過 率) 40.3%	
(問題) 7 (3)	(連番) 30	(設定通過率) 50.0%	
<p>(3) 次の資料1と資料2は、年表中のCの条約を結んだ後の庶民の生活に関係の深い資料です。これらの資料の解説中の(ア)と(イ)にあてはまる文をそれぞれ答えなさい。</p>			
<p>資料1</p> 		<p>資料2</p> 	
<p>(解説)</p> <p>資料1には、さとう、酒、炭、米などの生活に必要なものが高い木の枝に引っかかっているの、人々がそれを引っ張りおろそうとしているようすが描かれています。これと資料2とをあわせて考えると、当時の庶民の生活について次のことがいえると思います。</p> <p>(ア) ために、生活が(イ)。</p> <p>こうした庶民の状況は、やがて幕府に対する不満となり、世直しによる新しい時代の来ることを願うようになっていったのではないかと思います。</p>			
<p>[考察]</p> <p>○ 通過率は設定通過率を9.7ポイント下回っており、歴史的な事象を覚えるだけでなく、様々な場面において、他の事象と結び付けたり、他に及ぼした影響などを考えたりするような指導を工夫していく必要がある。</p>			

(調査問題、解答例等は111、112、114、115ページ参照)

⑦ 今後の指導について（指導方法改善のポイント）

全 体

- ◆ 通過率と設定通過率を比較すると、学習内容はおおむね定着していると考えることができる。今後とも、地理的事象、歴史的事象についての問題解決的な学習、調査や見学、体験を取り入れた学習などをもとに、学んだことを分かりやすくまとめたり、発表したりする学習を進めていくことが大切である。
- ◆ 地理的分野、歴史的分野ともに、地理的事象、歴史的事象を生徒が自分なりに考え、判断することができるよう、学習の基本となる知識や資料を活用し、事象のとらえ方や読み取り方に関する指導を一層工夫することが大切である。

内容・領域別

- ◆ 地理的分野
 - ・ 「世界の地域構成」の通過率が低いことから、地球儀や地図など目的に応じた資料を活用して追究し、多面的に事象をとらえる学習を今後も継続していくことが大切である。
 - ・ 地理的な統計データを深く分析したり、他のデータと比較したりすることにより、資料を読み取り、活用する力を育成することが大切である。
- ◆ 歴史的分野
 - ・ 中世・近世の日本の通過率が高く、古代までの日本や近現代の日本と世界の通過率が低いことから、文化や産業、生活など関心のある主題を設定してまとめる作業的な学習を通して、歴史の大きな流れに着目し、思考・判断する能力を育てることが大切である。
 - ・ 基本的な歴史的事象に関する知識と意味について確実に理解させるとともに、他の歴史的事象との関連を図るために、授業における学習課題や資料の提示など、生徒の興味・関心をさらに高めていく指導を工夫していくことが大切である。

小学校の課題との関連、考察

- ◆ 大陸や方位、身近な地域等の「地理的位置の理解」について、共通の課題がみられることから、中学校においては、地図や資料を活用し、生徒自らが調べたり、まとめたりするなど、課題を工夫することにより地理的事象への関心を高めていく授業の工夫・改善を図ることが大切である。
- ◆ 社会的事象についての知識・理解については、小中学校ともに改善がみられることから、中学校においては、引き続き基礎的・基本的な事象を確実に理解し、さらに他の社会的事象と結び付けながら、思考・判断する力の育成を重視することが必要である。